年末年始・休日の医療機関
急病や健康相談にも対応

年末年始や休日には、保健医療センター内の綾瀬休日診療所・歯科診療所・調剤薬局で救急患者を受け付けます。迅速に診療を受けられるよう座間綾瀬医師会、大和歯科医師会、大和綾瀬薬剤師会が開設するものです。受診の際は、診療費と健康保険証を持参してください。

問同センター☎77・1133。

科　目	診療日	受付時間	場所・☎
内　科 小児科	日曜日・祝日 12月28日・30日～1月4日	9時～10時45分 13時～15時45分 19時～21時45分	綾瀬休日診療所 ☎77・5315 (診療時間のみ)
歯　科	日曜日・祝日 12月28日～1月4日	9時～11時30分 13時～15時30分	綾瀬休日歯科診療所 ☎79・1818 (診療時間のみ)
調剤薬局	日曜日・祝日 12月28日～1月4日	9時～11時30分 13時～16時 19時～22時	綾瀬休日調剤薬局 ☎76・5388 (調剤時間のみ)

かながわ小児救急ダイヤル

夜間、子どもの急な発熱や体調不良などで判断に迷ったことはありませんか。家庭での対処方法や医療機関にすぐかかる必要があるかなどの助言が受けられます。毎日18時～24時、☎#8000（プッシュ回線、ISDN回線、携帯電話）か☎045・722・8000（ダイヤル回線、IP電話）。

あやせ24時間健康相談

心や体の健康などについて気軽に相談できます。医師や保健師などの専門職が、24時間体制で電話相談に応じます。☎0120・1192・61。

年末年始の飛行活動の停止を要請

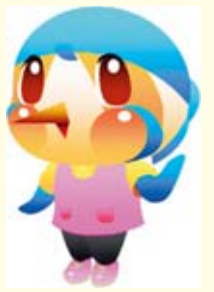
11月18日、市長と市議会議長・基地対策特別委員会委員長が、在日米海軍と厚木航空施設の両司令官に年末年始の飛行活動停止を申し入れました。

南関東防衛局長と海上自衛隊第四航空群司令にも協力を要請し、外務大臣と防衛大臣などには、米軍への申し入れを行うよう要請しました。また、学校行事などの際の騒音軽減徹底も申し入れました。

問基地対策課☎70・5604。

市職員（保育士）募集

▶試験区分（レベル）　保育士（短大卒程度）▶受験資格　昭和59年4月2日以降生まれで保育士の資格を持つか来年3月末までに資格取得見込みの方▶第1次試験日　1月18日(日)▶会場　市役所会議室▶採用予定人数　若干名▶採用予定時期　来年4月以降▶囲▷期間　12月15日～22日(必着)▷方法　市ホームページから電子申請、簡易書留か直接▶受験案内・申込書配布　職員課（土・日曜日は市民課）、スポーツセンター、中央公民館、各地区センター、寺尾いずみ会館、南部ふれあい会館、図書館（市ホームページからダウンロード可）▶その他　詳細は受験案内参照



問職員課☎70・5607。

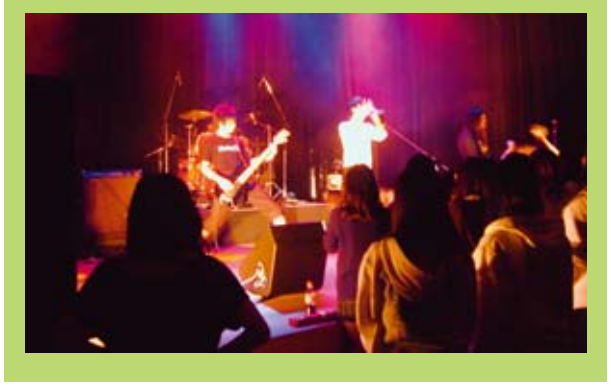
あやせヤング ロックコンサート Rock'n Rose AYASE ～ニューイヤーライブ～

1月17日(土)14時～18時、文化会館であやせヤングロックコンサート「Rock'n Rose AYASE～ニューイヤーライブ～」を開催します。高校生で構成された同コンサート実行委員会が主催する熱いコンサートは今年で8回目を迎えます。

高校生で結成されたバンド8組がコピー曲やオリジナル曲を演奏・披露するほか、曲間にイントロクイズや○×（マルバツ）クイズ、ビンゴ大会を行い、当選者には景品もあります。

この日に向けて準備した、熱気あふれるステージをぜひ見に来てください。

問同委員会事務局（青少年課内）☎70・5655。



くらしの消費生活相談

架空請求メールに注意

「『総合情報サイトの料金が未納。放置していると法的手続きを取る』と携帯電話に突然メールが届いた。情報サイトを利用した覚えは全くないが、どうすればよいか」。

消費生活センターには、このような架空請求と思われる相談が多く寄せられています。「身辺調査をする」「法的措置を取る」「財産を差し押さえる」などの言葉で恐がらせ、問い合わせ窓口に電話をさせるように仕向けます。電話をすると、「料金、延滞料の他に調査料も必要」「弁護士への委任料が要る」などと言って、高額な料金を請求されることがあります。個人情報を聞き出すことが目的の場合もあります。覚えがなければ、業者の窓口に連絡せずに、無視して様子を見るようにしましょう。不安に思ったり、対処に困ったりするようなことがあれば、同センターに相談してください。

問同センター☎70・3335。

きらめき市民活動

まちかど特派員レポート　吉江　旭

ハンドメイドマルシェayase実行委員会

問大松☎080・6774・0217

▲10月のイベントの様子（左が大松さん）

自分で考え、独創的な表現で多種多様な作品を作製する「ハンドメイド　マルシェayase実行委員会」を紹介します。

会長の大松るみさん（深谷中）宅を訪問すると、1階が事務所兼展示場になっており、洋服、財布、ブローチなど200点を超える会員の作品が展示されていることに、驚かされました。

同実行委員会は、今年3月に女性6人で発足し、創作活動を進めています。作品は、事務所兼展示場、各種イベント会場で展示販売しています。

大松さんは、「近隣では、市を挙げてマルシェが行われているのを見て、ぜひ、綾瀬でも開催したいと思った」と、設立の動機を話します。その結果、念願叶って開催したイベントでは、出品者の喜びの声や来場者からの次回の問い合わせなどが寄せられ「予想以上の反響に驚いた」と、笑顔をのぞかせていました。

一方、これまでの間、活動を理解してくれた家族や共に運営してきた仲間へは「『ありがとう』の言葉以外ありません」と感謝の気持ちを話していました。

「ハンドメイドを通して、人と人とのつながりを大切にできるイベントを、年2回は開催したい」と、今後の目標を話します。また「ボランティアや来場者など皆さんの協力があって成り立っているマルシェを、多くの人に一緒に楽しんでもらいたい」と呼び掛けていました。

目標に向け、歩みを進める同実行委員会が、今後、多くの仲間と共に大きく発展することを、期待したいと思います。

▲10月のイベントの様子

広報まちかど特派員や市民からの情報などを、市ホームページの「あやせネットニュース」とフェイスブックで発信しています。問秘書広報課☎70・5606